

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第36号

ななえ古写真物語

VOL. 36

冬の軍川

~ 忘却の茅葺民家 ~

写真は昭和40年頃か？

軍川地区



nanae historical
museum collection

季節はすっかり冬。今年もあっという間に過ぎ、気付けばもう「師走」です。師でもないのに、相変わらず走り回っていた私ですが、皆様はどのような一年をお過ごしになったのでしょうか？

さて、今年最後の写真は、これまであまり紹介していなかった軍川地区のものになります。

写真をみますと、遠くには雪の衣をまとった駒ヶ岳が見え、その眼下には同じく田や畑が雪化粧をしている様子が伺えるかと思えます。恐らく「ああ、今でもよく見る風景だな」と思いがちですが、建物をよく見ますと、今では七飯町内でも珍しくなってきた茅葺民家（屋根がカヤなどの植物でふかわれている家のこと）がいくつか見られる風景です。

また、田畑の間を横走している道路は、大沼と鹿部を結ぶ道と考えられますので、現在と比較しても、このあたりに建てられていた茅葺民家が多かったことがわかります。さらに、右端に写っている電柱も上部の造りが現在と異なり時代を感じさせますし、右側に写っている民家の隣に建てられている納屋（牛舎か？）の屋根形状をみても、最近あまり見なくなったスタイルのものだということがわかります。

ここで、軍川地区の歴史に触れておきます。

軍川地区は、およそ嘉永2年（1849年）頃に開墾されたといわれている場所で、旧記によれば、下総国の林八郎兵衛が創始だという説や、野沢竹松という人が山稼ぎをしていたのが創始だという古老の話もあり、その始まりは諸説あります。いづれにせよ、軍川神社の建立が嘉永7年といえますから、江戸時代終わり頃から、少しずつ移住者が増え、開墾されてきたと想像されます。

また、元治元年（1864年）頃からは、相馬藩家老の熊川兵庫の計画で、東北地方からの移住者が増えたといいますが、後の明治維新の影響によって、この計画は途中で断念されたといえますし、さらには、明治12年頃には、洋式農具を携えた「開進社」といわれる一団が開墾にあたったという歴史もあり、フロンティア精神に溢れた人々がこの場所で多くの夢を馳せたと想像できます。

ところで、軍川村の名前の由来についても、イクサンダというアイヌ酋長がいた為とかイイクサというアイヌが住んでいたからと諸説あり定かではありません。さしずめ、真実は忘却の彼方に・・・といった感じでしょうか。

25日

友の会の皆さんが、当館野草園の木にむしろを巻いたり、表示板の整理など、冬囲いをしてくださいました。

今年も、友の会の皆さんのおかげで、色々な種類の植物を見ることができ、花が咲き誇る春から夏には、来館されたお客様が野草園の前で足をとめ「きれいですね」「この植物、初めて見ました!」「楽しみで時々見に来ています」などの声をかけていただきました。

寒い中での作業でしたが、本当にありがとうございます。そして、来年もどうか協力よろしく願いいたします。



作業風景



ロビーの写真を新しくしました。

当館では、年2回、ロビーに掲示している写真の入れ替えをしています。

おもに、七飯町の四季折々の自然や当館事業の様子を紹介していますが、今回の入れ替えでは、じゅんさい沼に浮かぶ西大沼の弁天島や、ふぁみりーでいみゅーじあむの様子などの写真を展示しています。

ご来館の際には、どうぞご覧ください。



ロビーの様子

収蔵展「火の系譜II」開催中です。

11月26日から来年2月6日まで、企画展示室で、収蔵展「火の系譜」を開催しています。時代劇でよく目にする囲炉裏や火鉢から、現在使われている石油ストーブまで...暖房器具・小物の歴史を紹介しています。また、七飯町で開発された「宮川式ストーブ」も展示しています。

実際に「灰ならし」を使ったり、ゆれても中の炭火がこぼれないように設計された「そり用こたつ」などをさわれるコーナーもありますので、ぜひご来場ください。



編集後記 ~tawagoto~

この前、私の自然系分野の師と仰ぐ方が「七飯町の河川が凄いいことになっている!」と私をある川まで連れて行ってくれた。そこで私が目にしたのは「ブラウン・トラウト」という外来魚(しかも50cm超)がたくさんバケツに入れられている光景だった。彼らは海を回遊した後、適当な河川へ遡上し産卵するそうで、七飯では久根別川を經ているようだ。「マジかよ!」と、環境変化の恐ろしさを肌身で感じた一日だった・・・。(やまだひさし)

1月の予定

1	土 元旦	年末年始休館日
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	↓
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月 成人の日	
11	火	
12	水	夜の博物館
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	ジュニア探検クラブ
30	日	
31	月	

1月は1~5日まで休館になります。

活躍の季節、到来!

今年もこの方達が活躍する季節がやってきました。学校や施設へ出張の日々を送っています。皆様の楽しい思い出作りに貢献できていましたら幸いです。(A)



Richard

~ピチャリ~ 第36号

平成22年12月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp